

日本民俗学会 第62回年会 宮城

第1回 サーキュラー

日本民俗学会第 62 回年会を下記の要領で開催いたします。今回は、宮城県仙台市において「変化」をテーマとして開催いたします。これに伴い、一般の研究発表につきましても関連するテーマでのお申込が多いことを期待しております。勿論、それ以外のテーマによるご発表も歓迎いたします。皆様奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

第62回年会実行委員会

日 程

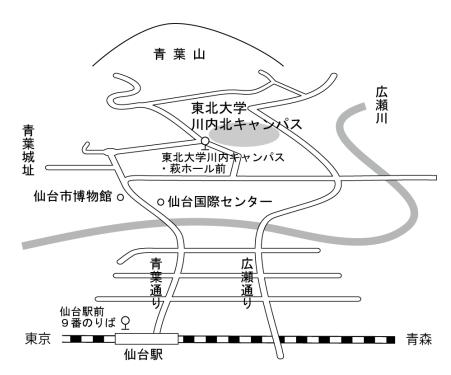
2010年10月2日(土)・3日(日)

会場

東北大学川内北キャンパス (仙台市青葉区川内 41)

アクセス

JR 東日本・東北本線仙台駅 仙台駅前バス停 9 番のりばより 仙台市バス宮教大・青葉台・成田山行き、 動物公園循環に乗車(約 15 分、180 円) 東北大学川内キャンパス・萩ホール前バス停下車、徒歩 3 分



※ 宿泊等の斡旋は行いません。各自お調べの上、お申し込みください。

年会事務局

東北大学大学院文学研究科宗教学研究室気付 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1

TEL / FAX : 022-795-6022 E-mail : fsj62@sal.tohoku.ac.jp URL : http://www.sal.tohoku.ac.jp/fsj62/

プログラム

2日(土)

9:30~10:00 理事会 10:00~12:30 評議員会 12:00~ 受付開始

13:00~16:30 公開シンポジウム「生老病死にみる民俗の変化」

16:30~17:50 研究奨励賞授賞式・会員総会

18:15~20:15 懇親会

3日(日)

9:00 ~ 受付開始

9:30~12:00 研究発表(午前) 13:00~16:30 研究発表(午後)

※3日の開始・終了時刻は、発表プログラムの確定する8月下旬に最終決 定いたします。決定内容については第3回サーキュラーでお知らせいた します。

参加申込

参加・発表を希望される方は同封の返信はがき、あるいはオンライン申込フォームよりお申し込みください。

オンライン申込フォームのアドレス

http://www.sal.tohoku.ac.jp/fsj62/appForm.html

はがきの返送期限は 2010 年 6 月 18 日 (金) 必着です。 オンラインの場合は 2010 年 6 月 18 日 (金) 24:00 までに送信ください。

- ※ オンライン申込の場合、フォーム送信後の自動返信メールとは別に、 年会事務局より登録確認のメールを送信いたします。万一、7 日以内に メールが送付されない場合には、お手数ですが年会事務局あてにご連絡 ください。
- ※ 参加・発表の申込は、返信はがきあるいはオンラインのどちらか一方で構いません。
- ※ 返信はがきを、住所変更通知など、年会業務とは無関係な連絡には流用なさらぬようお願い申し上げます。
- ※ 個人情報の保護…今回返信はがきにてお送りいただいた個人情報については、第 62 回年会にかかわる事務においてのみ利用し、別の用途に利用することはありません。

参加費

大会参加費 4,000 円 (当日 5,000 円) 懇親会参加費 5,000 円 (当日 6,000 円)

- ※ 大会参加費・懇親会費ともに、納入期限は**8月6日(金)**です。<u>期日</u>にて振込口座を閉鎖いたしますので、以降は当日にお支払いください。
- ※ 一度納入いただいた参加費はいかなる理由があっても返却いたしません。あしからずご了承ください。
- ※ 納入方法については、7月上旬に参加申込者に送付する第2回サーキュラーにてお知らせいたします。

研究発表形式

一般発表

- ★発表 20 分・質疑応答 5 分・移動 5 分を 1 ユニットとします。
- ※一般発表を行う方は、同封の返信はがき、あるいはオンラインにてお申し込みください。
- *発表内容は、日本民俗学会および関連する諸学会等において、未発表のものに限ります(口頭発表・印刷物などですでに発表したものと同一内容の発表の禁止)。重複発表が判明した場合は、参加費の納入の如何にかかわらず、発表をお断りすることとなります。
- ★最大発表枠は、グループ発表と合わせて約 100 となっております。
- ❤ 使用できる機材は、PC 用液晶プロジェクタ(D-sub 15pin 端子使用)・ 書画カメラです。PC 本体は各自でお持ち込みください(LAN の設備は ございません)。使用を希望する場合は、参加申込時に該当する機材の 欄にチェックをお願いいたします。

グループ発表

- 業統一テーマのもとで3名もしくは4名の発表者からなるグループ発表を 受けつけます。うち1名をグループ発表の代表者としてください。
- ※グループ発表の場合、代表者の方だけでなく、その他の発表者の方も「研究発表申込」を行っていただきます。同封の返信はがき、あるいはオンラインにてお申し込みください。
- ☀グループ発表の時間枠は、一律 90 分となります。枠内の時間配分は、 代表者にお任せいたします。
- ※グループには適宜、司会を設定していただくことができます。司会自体 の登録は必要ございませんが、プログラムへの記載もいたしません。な お、学会側から座長を配置いたしますが、グループ発表の討論等には関 与いたしませんので、ご了承ください。
- ※グループ発表で使用できる機材は一般発表に準じます。
- ☀万が一「グループ発表」希望が相当多数にのぼり、「一般発表」の会場を十分に確保できなくなる事態が生じた場合は、適宜発表調整を行うことがありえます。予めご了承ください。
- ※ 個人発表とグループ発表、両方での発表はできません。
- ※ ポスターセッションは行いません

発表資格について

- ★日本民俗学会会員であり、今年度会費納入済の方が申込資格者となります。
- *更に、期限(8月6日)までに大会参加費の納入および発表要旨の提出 を済まされる必要があります。期限を過ぎると自動的にキャンセルとな りますので十分ご注意ください。

今後の予定

返信はがき郵送期限 6月18日(金) 第2回サーキュラー 7月上旬発送予定

> 内容…発表要領・発表要旨執筆依頼(発表予定者のみ)、会費納入要項、その他年会参加に関する連絡事項、書籍販売申込要領、 出張依頼状の同封(希望者のみ)

発表要旨提出期限 8月6日(金) **書籍販売申込期限** 8月6日(金)

参加費等納入期限 8月6日(金)これ以降は当日料金となります

第3回サーキュラー 9月上旬発送予定

内容…各発表会場プログラム、会場案内、発表案内

公開シンポジウム

テーマ:生老病死にみる民俗の変化

日 程:2010年10月2日(土)13:00~16:30

会場:東北大学川内北キャンパスマルチメディアホール

(仙台市青葉区川内 41)

企画趣旨:本年の年会は「変化」を全体に通底するテーマとして採用し、可能なところで「変化」を意識した発表をお願いしてきた。シンポジウムにおいては、「変化」の事例として人生における生老病死の各場面を取り上げ、それぞれの場面におけるこの間の「変化」について、民俗学の周辺研究領域の研究者にお話しいただく。それらの発表に対して民俗学の立場からコメントを付け、フロアからの意見も取り入れるところから、民俗の「変化」をめぐる民俗学的立ち位置を考えることとしたい。

スピーカー:

生:島薗 進 (東京大学教授:宗教学)

老: 宮本 みち子 (放送大学教授: 家族社会学)

病:波平 恵美子 (お茶の水女子大学名誉教授:医療人類学)

死:森 謙二 (茨城キリスト教大学教授:法社会学)

コメンテーター:

新谷 尚紀 (國學院大學教授:民俗学)

小池 淳一 (国立歴史民俗博物館准教授:民俗学)

コーディネーター:

鈴木 岩弓 (東北大学教授:宗教民俗学)

司 会:

小谷 竜介 (宮城県教育委員会:文化人類学)

プレシンポジウム

(第850回 日本民俗学会談話会)

テーマ:民俗学は「変化」をどうとらえるのか

日 程:2010年7月11日(日)13:30~17:00

会 場:東北大学片平さくらホール

(仙台市青葉区片平 2-1-1)

共 催:東北民俗の会

企画趣旨:本シンポジウムは、日本民俗学の他分野の用語や方法論、流行に左右されるのではなく、民俗学の学史をふまえ、その問題意識を整理し、民俗学の本質、独創性を再確認することを、目的とする。前向きな観点から民俗学は何を明らかにしたのか、民俗学から何が見えるのか、何がわかるのか、民俗学の学問としての力量と将来性を真正面から問うてみたい。

パネリスト:

新谷 尚紀 (國學院大學教授)

福田 アジオ (神奈川大学教授)

真野 俊和 (前筑波大学教授)

コメンテーター:

岩本 通弥 (東京大学教授)

川島 秀一 (東北民俗の会)

司 会:

加藤幸治 (東北民俗の会)

佐藤 敏悦 (東北民俗の会)

佐藤 雅也 (東北民俗の会)